



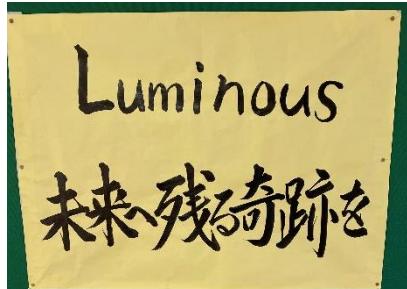
本気・根気・元気

令和7年11月11日発行【第7号】
発行者：佐賀市立昭栄中学校
校長 川副 紀子

学校教育目標：夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 －自律・協働－

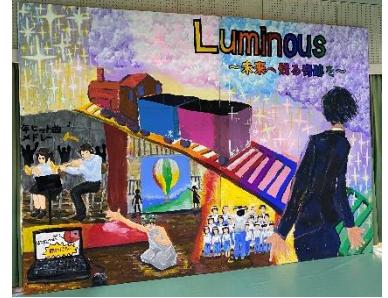
生徒会スローガン：常識を覆せ！～Shoei of Students, by Students for Students～

伝える、表現する…そして、メッセージを実現していく



令和7年度文化発表会・合唱コンクールが10月29日（水）に行われました。

「Luminous 未来へ残る奇跡」をテーマに一人一人の個性が輝く一日になりました。吹奏楽部の圧巻の演奏、生徒会をゲストにダンスを交えたパフォーマンスも大変盛り上がりしました。オープニングでは生徒会が平和を祈念してクスノキを植樹し、平和への思いを未来へつなげようという決意が込められました。英語スピーチでは身近な問題や社会的な問題を取り上げ、家族への思い、友人への思いを通して互いに尊重しあうことの大切さを伝えました。1年生の朗



読劇「この子たちの夏」では、原爆により当たり前の日常を奪われた広島の人々の苦しみと悲しみを当事者の言葉をつなぎながら朗読で訴えました。2年生の劇「えんとつ町のペルヘルミナスの夜に～」は、煙の向こうに光がある、星があることを信じ続けた主人公の姿を通じ、信じる心を持ち続ければ、新しい景色や未来が見えることを伝えました。3年生の劇「私たちが今あるのは」では、私たちが今、自由に夢や希望を語れるのは、平和があるから。そしてこの平和は、命をかけて未来を守ろうとした人がいたからということを再確認する機会となりました。どのパフォーマンスも伝えたいメッセージが参観者のもとにしっかりと届きました。展示物では、各学年のアートは劇との関連を意識した作品で演出効果をさらに高めています。教科の学びを広げたり、深めたりする研究作品や書き方会の優秀作品、個性と感性あふれる美術部の作品等、ものづくりにかける情熱が感じられる作品でした。午後からの合唱コンクールは、本番までの練習に注がれた努力を十分に感じるものとなりました。どのクラスからも一生懸命さとチームワークが伝わってきました。歌声とともに、互いを信頼し、思いやりの姿勢に感動しました。文化発表会、合唱コンクールとともに、運営に携わった実行委員会の皆さんに心から敬意を表します。また、お忙しい中ご参観いただいた保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

リーダーと共に創る育つ



11月6日（木）に生徒会長選挙立会演説会並びに投票が行われました。候補者はそれぞれに学校の課題を解決し、理想とする学校を実現するために何ができるかを考え、自分の言葉で堂々と演説を行いました。全校生徒の前に立ち演説する姿からその責任と決意を感じさせ、これから昭栄中学校を引っ張っていく存在として頼もしく感じました。新しいリーダーの誕生を喜ぶとともに、全校生徒一人一人が自分だったらどうするかという視点に立ち、意見を出し合い、支え合いながら、私たちの学校をさらに創造・発展させていってほしいと思います。

昭栄校区民生委員・児童委員をお迎えしました

11月7日（金）に昭栄中校区（嘉瀬小校区、新栄小校区、日新小校区）の民生委員・児童委員の方々に本校の生徒たちの学校生活の様子を参観していただきました。小学生の頃は身近な存在だった民生委員・児童委員の

方々も中学生になると接する機会が少なくなります。しかし、生徒たちは中学生になっても地域の子どもたちです。これまでと変わらず地域の子どもたちが、元気で安心して生活していくように見守っていただき、気にかけていただいています。生徒たちだけでなく、保護者の方にとっても何かあれば相談に乗ってくださる頼れる存在の民生委員・児童委員のみなさんです。学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を見守り支えるために、このような取組を継続していきたいと思います。

小学校運動会、校区のスポーツ大会で活躍しています

本格的なスポーツシーズンを迎える、小学校や地域の運動会が盛んに行われています。本校生徒がボランティアとして、各大会の競技運営をお手伝いしています。26日（日）に行われた日新校区スポーツ大会では、地域からの要請を受け、中学生が競技を企画し、実施しました。小学生が中学生とペアになり、クイズに答え、正解したらゴールまで一緒に駆け抜ける競技でしたが、予想以上に小学生の参加が多く、息を切らしながら何度もスタートとゴールを往復する中学生が大盛況を笑顔で喜ぶ姿が大変印象的でした。このことを通して、生徒たちは自分たちが地域に貢献できることを実感できたと思います。地域に根ざしたこのような経験は将来の社会づくりにつながる大切な学びの場となりました。



佐賀市教育政策市民満足度調査の結果から

9月24日に佐賀市のホームページに令和7年度佐賀市教育政策市民満足度調査結果が掲載されています。この調査は一般市民、小学4年生から中学3年生、そしてその保護者を対象に4月11日から5月12日までの期間に実施されました。**3. 子どもアンケート調査結果（1）あなたの毎日の生活について①今の生活について問4・5 あなたは今の生活をどう思っていますか ⑧家庭学習をする**に対し、「いつもしている」と回答した児童生徒は令和2年度は62.9%だったのに対し、令和7年度は48.0%まで減少しています。内訳は小学生が53.5%、中学生が41.2%と中学生が大幅に減少していることがわかります。

これから社会を生きる子どもたちは、これまでの方法では解決が困難なことに数多く出会う可能性があります。あきらめず探究していく粘り強さ、新たな価値を生み出す創造力、複数の価値や対立する意見を調整する力など、一般的な知識の習得にとどまらず、新たな能力が加えて求められています。これらの力を身に付けるためには、学校や家庭でじっくり時間をかけて学ぶ姿勢を身に付けることがとても重要です。家庭学習の継続には、学校と家庭の連携が欠かせないことから、基本的な生活・学習習慣の確立を目指して、今後ともご協力をお願いします。

園児たちとの交流から



3年生の家庭分野の学習で幼児との交流を通して、保育を学びました。最初はどう接してよいか戸惑う生徒もいましたが、時間が経つにつれ、幼児の目線に立ち、声をかけたり、遊びを工夫したりする姿が見られました。幼児たちの笑顔や素直な反応に触れることで、生徒たちは命が大切に育まれていく過程を実感し、同時に育児の難しさを知る機会になりました。



校内を彩る花々 11月10日（月）の放課後、65名のボランティアが参加し、



プランターに花の苗を植えました。今回植えた苗はキンギョソウ、ノースポール、ビオラ等で、順調に成長すれば、1か月後ぐらいにはきれいな花が咲く予定です。

この他にも、1年6組の生徒と担任の先生が校内にたくさんのお花をさかせてくれています。とてもやさしく、かわいらしいピンク色の花々が校内を明るく素敵なお雰囲気してくれます。木や花がしっかりと咲き、伸びるために土の中で根を張らなければなりません。根がしっかりとしていれば、少々の風にも負けません。小さな植物を見ながら、若い時期の学びや経験は、未来のための大変な時間だなあと感じました。

